



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 電響社

コード番号 8144 URL <http://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤野 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 辻 正秀

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 06-6644-6711

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,143	1.0	△311	—	88	△81.1	37	△81.6
26年3月期第2四半期	18,953	△0.0	36	△55.4	470	19.5	205	△8.6

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 474百万円 (58.2%) 26年3月期第2四半期 300百万円 (667.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.03	—
26年3月期第2四半期	16.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	30,629	—	22,802	—	—	74.4
26年3月期	30,046	—	22,492	—	—	74.9

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 22,802百万円 26年3月期 22,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	4.4	350	17.2	1,000	△15.7	450	△24.6	35.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	13,330,042 株	26年3月期	13,330,042 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	795,187 株	26年3月期	792,342 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	12,535,668 株	26年3月期2Q	12,542,686 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済成長戦略や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、設備投資の増加など景気は緩やかな回復基調となりました。

一方で原材料の高騰や急激な円安の進行に伴う企業業績への影響、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、夏の天候不順の影響等、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要販売先である専門量販店等におきましては、4月に入り消費税増税後の反動減が見受けられる中、業種業態を超えた価格競争がますます激化し、当社グループ各社におきましても、同業他社とのあらゆる競争が一段と激しさを増し大変厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、消費者が求めている商品の発掘と取引先への企画提案、オリジナル商品の開発等を強化し、さらに当社と連結子会社の和無線電器株式会社、梶原産業株式会社の3社共催による合同商談会も引き続き実施するなど、積極的な営業施策を推進してまいりました。

平成26年7月には、デザイン家電製品の企画製造販売事業を営む株式会社アピックスインターナショナルを当社グループに経営統合し、商品開発力の強化を図ってまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は191億4千3百万円で前年同期比1.0%の増収となりました。

一方、利益面におきましては、売上総利益率の低下と販売費の増加等により、経常利益は8千8百万円で前年同期比81.1%の減益となりました。四半期純利益におきましても、3千7百万円で前年同期比81.6%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比5億8千2百万円増加し、306億2千9百万円となりました。

これは主に、現金及び預金で14億7千万円増加した一方で、受取手形及び売掛金、電子記録債権の売上債権で15億8千万円、たな卸資産で1億4千9百万円減少したことなどにより、流動資産で2億3千9百万円減少、また、有形固定資産で1億3千5百万円減少、無形固定資産で2億3千3百万円増加、投資有価証券の時価評価に伴う同評価額の増加等による増加6億4千万円等により投資その他の資産で7億2千4百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末比2億7千2百万円増加し、78億2千6百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金で6億3千8百万円減少した一方で、短期借入金で1億5千万円、一年内返済予定の長期借入金で1億8千3百万円増加したことなどにより、流動負債で3億8千2百万円減少、長期借入金で3億6千6百万円、繰延税金負債で2億6千7百万円増加したことなどにより、固定負債で6億5千5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末比3億1千万円増加し、228億2百万円となりました。

これは主に、四半期純利益3千7百万円による増加があった一方で、配当金の支払い1億6千2百万円による減少があったこと、その他有価証券評価差額金が4億3千6百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、平成26年7月1日付で株式会社アピックスインターナショナルの全株式を取得し完全子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530	5,000
受取手形及び売掛金	7,997	6,517
電子記録債権	695	595
たな卸資産	3,044	2,894
その他	942	962
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,210	15,970
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	401	385
土地	1,871	1,734
その他(純額)	67	84
有形固定資産合計	2,340	2,204
無形固定資産		
のれん	215	465
その他	181	164
無形固定資産合計	396	630
投資その他の資産		
投資有価証券	3,184	3,824
貸貸固定資産(純額)	3,750	3,915
長期預金	3,608	3,528
その他	556	563
貸倒引当金	△1	△8
投資その他の資産合計	11,099	11,823
固定資産合計	13,836	14,658
資産合計	30,046	30,629

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,559	3,920
短期借入金	1,150	1,300
1年内返済予定の長期借入金	16	199
未払法人税等	240	59
引当金	169	139
その他	464	597
流動負債合計	6,599	6,217
固定負債		
長期借入金	—	366
退職給付に係る負債	278	302
その他	675	940
固定負債合計	954	1,609
負債合計	7,553	7,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	17,116	16,991
自己株式	△435	△437
株主資本合計	21,886	21,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	1,042
その他の包括利益累計額合計	606	1,042
純資産合計	22,492	22,802
負債純資産合計	30,046	30,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,953	19,143
売上原価	16,004	16,307
売上総利益	2,948	2,836
販売費及び一般管理費	2,912	3,147
営業利益又は営業損失(△)	36	△311
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	31	38
仕入割引	331	314
投資不動産賃貸料	148	151
負ののれん償却額	22	—
その他	84	81
営業外収益合計	632	598
営業外費用		
支払利息	4	3
売上割引	131	149
不動産賃貸原価	49	44
その他	12	0
営業外費用合計	198	198
経常利益	470	88
特別損失		
固定資産除却損	7	0
減損損失	100	—
特別損失合計	107	0
税金等調整前四半期純利益	362	88
法人税等	157	50
少数株主損益調整前四半期純利益	205	37
四半期純利益	205	37

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	436
その他の包括利益合計	94	436
四半期包括利益	300	474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300	474

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。